

「名寄市アール・ブリュット展 2023」を開催します！

12月3日(日)から始まる障害者週間にあわせ、今年も市ホームページで「アール・ブリュット展」を開催します。色鮮やかな作品を多数公開していますので、ぜひご覧ください。

また、作品の一部をエンレイホール(西13南4)の1階交流スペースにて、12月12日(火)～18日(月)の期間で展示します。自由な発想と方法で生まれた「生(き)の芸術」を、間近でゆっくりとご鑑賞ください。

開催期間

12月6日(水)
～12月28日(木)



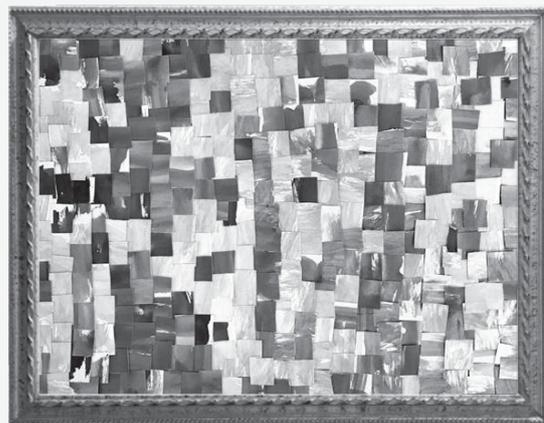
◀こちらのコードから
ご覧いただけます
(12月6日から)

～作品紹介～

昨年の応募作品の一部を紹介します。



作者：^{みなと} 湊 ^{かつとし} 勝俊 (名寄みどりの郷)
タイトル：夕暮れの学園
画材：水彩絵の具
説明：夕日に照らされた学園
赤く染まった紅葉
秋の風景はいつ見ても飽きないです



作者：^{いづさき} 岩崎 ^{ちなつ} 千夏 (剣淵北の杜舎)
タイトル：貼り絵
画材：画用紙、絵具
説明：秋が深まったある日のこと、真っ白な紙に3種の絵の具で自由にスケッチをし、次の週にそれをハサミで四角く切り、その次の週に厚紙にそれを貼り、次の週にはこの作品が完成した。長い時間をかけて仕上げたこちらの作品は、暖かな秋の日差しの中を舞う枯葉のようにも見える。彼女が感じた秋の情景が投影されているのかもしれない



※『アール・ブリュット』とは

フランス語で「生(き)の芸術」を意味し、正式な美術教育を受けず、既存の技巧や流派に流されることなく、自由な発想と方法により制作された作品。

問い合わせ：基幹相談支援センター (名寄庁舎2階) ☎01654③2111(内線3291)
※ご意見・ご感想は ✉ny-kikansoudan@city.nayoro.lg.jpまでご連絡ください。